

# プリンタ VZ-800 取扱説明書

## はじめに

- 使用前に本書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 本書の内容は予告なく一部変更する場合があります。また、全てを無断で転載することは固くお断りします。
- 本書で指示している部分以外は絶対に手入れや分解・修理を行わないでください。
- お客様の誤った操作方法、使用環境に起因する損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書に記載されていない操作は行わないでください。事故や故障の原因になることがあります。
- データなどは基本的に長期的、永久的な記憶、保存は出来ません。故障、修理、検査などに起因するデータの消失の損害及び、損失利益などについては当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の内容について、万が一不審な点や誤記、記載もれなどお気付きの点がありましたら、ご連絡ください。
- 運用した結果の影響は、上記にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置など電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 日常のお手入れ

- お手入れは必ず本体の電源を切ってから行ってください。
- プラテンローラーを清掃する場合、エタノールまたはイソプロピルアルコール（以降IPAと表記）を綿棒につけて、ゴミなどの汚れを拭き取ってください。
- 本体ケース表面の汚れ、ほこりは乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、水に濡らし固く絞ったふきんで拭き取ってください。アルコール類（IPAは除く）、シンナー、トリクレン、ベンジン、ケトン系などの有機溶剤や化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。
- 紙粉で汚れた場合は、毛先の柔らかいブラシなどを使用して掃除してください。
- メカヘッドやモーターは高温になっていますので、印字直後の作業はおやめください。



## 取扱上の注意

次の取扱は故障の原因となりますのでおやめください。









- 用紙をセットしない状態で印字しないでください。
- プリンタ内部にクリップ、虫ピン、ネジなどの異物を落とさないように注意してください。
- プリンタに水やコーヒーなどの液体をこぼしたり、薬剤などを吹きかけたりしないでください。
- プリンタを踏んだり、落としたり、叩いたり強い衝撃を与えないでください。
- 操作パネル部の操作は、ペン先などの鋭利なものでは絶対に行わないでください。
- 用紙同士をセロハンテープなどで、つなぎ合わせて使用しないでください。
- 用紙をセットした状態で、用紙を無理に手で引張ったりすることは絶対にしないでください。
- 鋸金のエッジ部などで、身体や他の物を傷つけないように注意してください。
- 使用中に異常が発生したら直ちに使用を中止し、電源コードやプラグをコンセントから抜いてください。
- プリンタの分解などは行わないでください。
- カバーなどの開閉時に、手や指などを挟まないようにしてください。
- 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
また、プラテンローラー保護のため、用紙をセットした状態にしておいてください。
- 電源アダプターは、付属のPS10を使用してください。

## 安全上の注意






プリンタを安全に正しくお使いいただくため、または機器の損傷を防ぐため、下記の表示を使って注意事項を喚起しています。

	<b>警告</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。


### 警告

	絶対に分解したり修理、改造しないでください。発火したり、異常動作して、けがをすることがあります。
	発煙、異臭、異音がしたら、すぐに電源スイッチを切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。
	プリンタを落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。
	付属品、消耗品の取り付け、取り外し及びお手入れの際は、電源プラグを抜いてください。感電やけがをすることがあります。
	痛んだ電源コード、電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。感電、ショート、発火の原因になります。
	電源プラグを抜く時は、コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを傷め、火災、感電の原因になります。
	濡れた手で電源プラグをさわらないでください。濡れた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。
	液体や異物などが内部に入ったら、電源スイッチを切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。

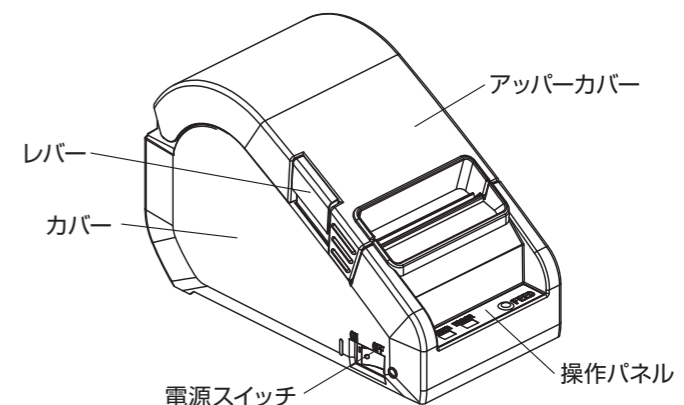
### 注意

	プリンタの内部や隙間に金属片を落としたり、水やコーヒーなどの液体をこぼさないでください。火災や感電、故障の原因となります。
	湿気の異常に多い場所や水分のかかる可能性のある場所では、絶対に使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
	印字直後は、サーマルヘッド部が高温になっていることがありますので、絶対に触らないでください。用紙の交換やヘッドのクリーニングは、サーマルヘッドが冷えていることを確認してから行ってください。
	電源コードやインターフェースケーブルをコネクタやコンセントから抜くときはコネクタ部分を持って外してください。ケーブル部分を引張ると故障の原因となります。
	次のような場合は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、事故や火災の原因になります。 <ul style="list-style-type: none"><li>●異常状態から回復できないとき</li><li>●異臭がする、煙が出た、または異常音が発生したとき</li><li>●プリンタの内部や隙間に、金属片や水などの異物が入ったとき</li></ul>

### 設置上の注意

	次の場所には設置しないでください。 感電、火災の原因となったり、プリンタに悪影響を及ぼすことがあります。 <ul style="list-style-type: none"><li>●静電気や強い磁界が発生するところ。故障の原因となります。</li><li>●震動が発生するところ。けが、故障、破損の原因となります。</li><li>●平らでないところ。転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。</li><li>●温度・湿度が本書に定めた使用環境を越えたり結露するところ。故障原因となります。</li><li>●油、鉄分の多い所、ほこりっぽいところ。故障の原因となります。</li><li>●直射日光が当たる、火気の周辺や熱気のかもところ。故障や変形の原因となります。</li><li>●漏電や漏水の危険があるところ。故障や感電の原因となります。</li></ul>
---	---

## 1. 各部の名称



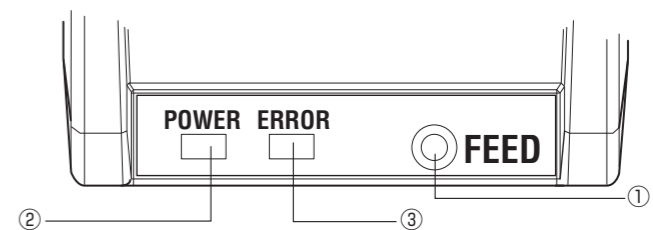
## 2. 付属品

開梱時に確認を行ってください。

- プリンタVZ-800（2インチ サーマルプリンタ 低電圧タイプ）
- ACアダプタ（PS10）
- ACコード（AC100V 日本/ AC120V 北米/ AC230V 欧州）
- プリンタケーブル（VZC-54）
- 用紙（サーマル用紙 58mm）
- 取扱説明書（本書）

## 3. 操作パネル

本体前面に下記の操作パネルが用意されています。

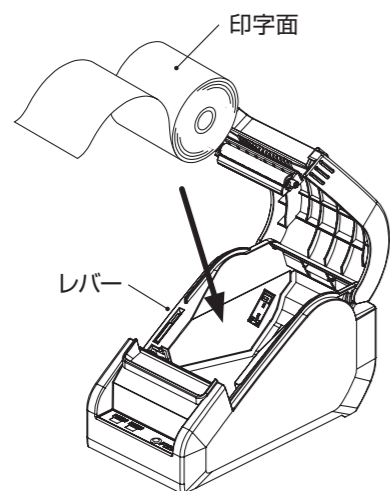


- ① FEED SW：用紙の紙送りと、自己印字を行うときに使用します。
- ② POWER LED(緑)：電源が供給されているときに点灯します。
- ③ ERROR LED(赤)：エラー時に点灯または点滅します(下表参照)。

エラー状態	ALM 点灯状態	解除方法
ペーパーニアンド検出	点滅1	用紙交換
用紙切れ	点灯	用紙交換
アッパーカバーが開いている	点灯	アッパーカバーを閉じる
ヘッド温度が、約70℃以上になった場合	点滅2	ヘッド温度約60℃以下で復帰
電圧異常	点滅3	要因を取り除いた後に、電源OFFからONにする

- \* 点滅1：約0.2sec 点灯→約0.2sec 消灯の繰り返し
- \* 点滅2：約2.2sec 点灯→約2.2sec 消灯の繰り返し
- \* 点滅3：約0.2sec 点灯→約0.2sec 消灯×3回、約1.0sec 点灯の繰り返し

## 4. 用紙のセット・交換方法



① レバーを押して、アッパーカバーを開けます。

- \* レバーは当たるまで押さないと、アッパーカバーが開かないことがあります。
- \* アッパーカバーを開けるときは、停止位置を越えて無理な力をかけないでください。
- \* 新しい用紙を入れる前に、古い用紙の巻き芯を取り除いてください。

② 用紙を図の向きにセットします(紙の裏表が反対の場合、印字されません)。

- \* 糊が付いている所は印刷ができませんので、残さず取り除いてください。
- \* 変形してない用紙を使用してください。変形した用紙を使用すると印字不良や故障の原因となります。
- \* 用紙にたるみがある場合、たるみを取り除いてください。

③ 用紙の先端をペーパーカッターより前に出して、アッパーカバーを閉じます。

- \* 用紙は真っ直ぐにセットしてください。用紙が斜めのままアッパーカバーを閉じると、端折れや紙ジャムなどの原因となります。
- \* アッパーカバーの中央付近を押して閉じないと、ロックが不完全となる場合があります、印字動作が行われないことがあります。
- \* ERROR LED が点灯中は印字できませんので、アッパーカバーは確実に閉じてください。
- \* 指や手を挟みこまないように注意してください。

## 5. 紙づまりの除去方法

用紙の排出中に手で押さえたりすると、紙づまりや改行不良の原因となります。下記の手順で用紙を除去します。

① 電源がOFFの状態で、レバーを押して、アッパーカバーを開けます。

② プリンタが破損しないように、紙づまりした用紙を取り除きます。  
\* サーマルヘッドは破損しやすい部品ですので、触れないように注意してください。

③ 用紙を真っ直ぐにセットし直して、アッパーカバーを閉じます。

④ 電源をONにします。  
\* ERROR LED が消灯していることを確認してください。

## 6. 用紙のカット方法

プリンタを押さえた状態で、用紙を手前に引いてカットします。

## 7. 定期清掃

紙粉やほこりなどにより、部分的に文字が印字されないことがあります。使用頻度により異なりますが、1か月に1度程度を目安に清掃してください。また、清掃時は必ずプリンタの電源をOFFにしてから行ってください。

### ○ サーマルヘッド

表面にたまった黒色状の紙粉は、エタノールまたはIPAを含ませた綿棒で発熱体表面の汚れを拭き取ってください。

- \* サーマルヘッドは破損しやすい部品ですので、傷を付けないように注意してください。
- \* サーマルヘッドが乾く前にプリンタの電源をONにした場合は、破損する可能性があります。十分に乾いてからプリンタの電源をONにしてください。

### ○ プラテン

乾いた布で軽くこするように拭き、表面のゴミやほこりなどを除去してください。

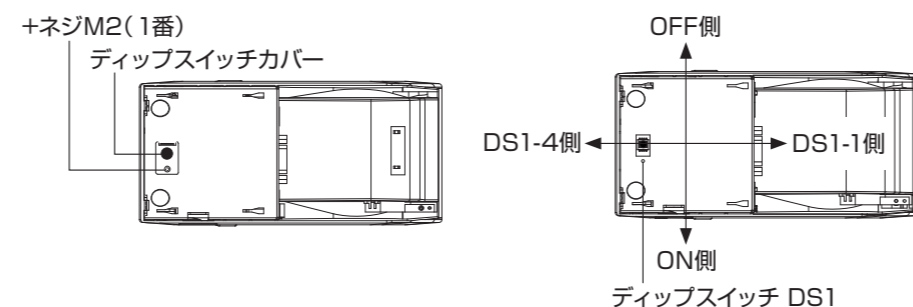
### ○ ペーパーホルダー、用紙走行部

柔らかい布などで、紙粉を除去してください。

## 8. 各種機能

### 8-1. ディップスイッチ

プリンタ底面のディップスイッチカバーを外した部分にあります。



下表のように各種設定ができます。

	機能内容	ON	OFF
DS1-1	シリアルパリティチェック	有り	無し
DS1-2	シリアルパリティビット	偶数	奇数
DS1-3	シリアルボーレート	表1参照	
DS1-4			

<表1> シリアルボーレート

	115200bps	38400bps	19200bps	9600bps
DS1-3	OFF	ON	OFF	ON
DS1-4	OFF	OFF	ON	ON

① 電源がOFFの状態で、十字ドライバーでディップスイッチカバーを外します。

② ペンなどの先の細い工具で設定します。

③ ディップスイッチカバーを元に戻します。

\* ディップスイッチカバーを止めるネジは外したものを使用してください。長いネジを使用すると内部の基板を破損する可能性があります。ネジは1本です。

④ 電源をONにすると、設定が有効になります。

### 8-2.自己印字

FEEDスイッチを押したまま電源を入れて、初期化動作後にFEEDスイッチから手を離すと自己印字ができます。搭載している制御回路、プリンタメカニズム、制御プログラムのバージョン、メモリースイッチ、ディップスイッチの設定状態が印刷されます。

\* 自己印字中、プリンタはオフライン状態です。

## 9. 仕様

印字方式	感熱ラインドット式
印字総ドット数	384ドット
印字ドット密度	8dot/mm (203dpi)
印字幅	48mm
最高印字速度	90mm/sec (ヘッド温度35℃以上、通電ドット数64ドット以下、最適化駆動、通信時間は除く)
インターフェース	RS232C準拠 シリアル12Vmax Dタイプ
用紙幅	58mm+0-1
用紙最大外径	φ83mm
用紙巻芯寸法	内径：φ12mm 外径：φ18mm (用紙終端が巻芯に糊付けされていないこと)
電源	DC8.5V±5% (ASCII Font A フル桁印字、室温約25℃、MAX 3.2A、平均 1.4A)
動作環境温湿度	温度：0～50℃(印字保証：5～40℃) 湿度：35～85%RH(結露無きこと)
保存環境温湿度	温度：-20～70℃ 湿度：10～90%RH(用紙の変色除く)
使用環境	一般事務室程度
外形寸法	89.5(W)×175(D)×113(H)mm (突起部・コネクタを除く)
質量	約510g(プリンタのみ、用紙を除く)

### ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを固く禁じます。
- 本書の内容につきましては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書に掲載されている製品および付属品の外観・画面などは、実際と異なる場合がありますが、操作・機能には影響ありません。
- 本書の内容につきましては、万全を期して作成しておりますが、ご不明点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、当社までご連絡ください。
- 本書を運用した結果の影響につきましては、上項に関わらず、責任を負いかねますのでご了承ください。

**株式会社ケット科学研究所**

東京本社 〒143-8507 東京都大田区南馬込1-8-1 ☎ 03-3776-1111 ☎ 03-3772-3001  
西日本支店 〒533-0033 大阪市東淀川区東中島4-4-10 ☎ 06-6323-4581 ☎ 06-6323-4585  
北海道営業所 〒063-0841 札幌市西区八軒一条西3-1-1 ☎ 011-611-9441 ☎ 011-631-9866  
東北営業所 〒980-0802 仙台市青葉区二日町2-15 二日町鹿島ビル ☎ 022-215-6806 ☎ 022-215-6809  
東海営業所 〒450-0002 名古屋市中村区名駅5-6-18 伊原ビル ☎ 052-551-2629 ☎ 052-561-5677  
九州営業所 〒841-0035 佐賀県鳥栖市東町1-1020-2 ☎ 0942-84-9011 ☎ 0942-84-9012

✉ sales@kett.co.jp @https://www.kett.co.jp/